

このページは、小・中学生向け  
て梅光学院大学子ども学部子ども  
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が  
作っています。

※イラスト 渡邊志帆さん、原田陽さん

# しものせき キッズページ

こにっぽんむかし  
「小日本昔ばなし」



▲冊子「小日本昔ばなし」



▲多武の峰公園(菊川町田部)から、「小日本」が一望できます。  
春は桜の名所としても有名な場所です。

皆さんは、自分の住んでいるま  
ちに言い伝えられている昔ばなし  
を知っていますか。今回は、菊川  
町の昔ばなしを紹介します。

『小日本昔ばなし』発刊

山に囲まれ、自然に恵まれた田  
園地域である菊川町では、町内の  
各地に多くの昔ばなしが言い伝え  
られています。そういった話が永  
久に埋もれないよう、できるだけ  
多くの昔ばなしを数年にわたって  
集め、平成5年3月、小学生も楽  
しく読める冊子「小日本昔ばなし」  
として発刊しました。



今年の3月、その復刻版が発刊さ  
れました。復刻版の表紙や背表紙  
は菊川町在住の藤井悦子さんが描  
いたもので、楽しそうなキツネや  
カッパなど、話に登場する動物た  
ちが描かれています。

## なぜ菊川が「小日本」と呼ばれているの？



昔、長府毛利藩に李路子という、  
山に囲まれた静かな村がありました。  
この山奥に庄屋が住んでいまし  
た。ある年の春、庄屋の息子が長  
府の殿様にあいさつに行くことな  
りました。李路子を出で、貴飯  
の峠を越え、内日を通って長府へ  
行くのですが、貴飯峠にさしかか  
った所で、庄屋の親子は一休みす  
ることにしました。そのとき、李  
路子の山奥の景色とは違う、峠か  
らの菊川の広い広い盆地を見た庄  
屋の息子は、驚いてこう言いまし  
た。「父上、日本ちゆうても広いも  
んですのう。こねえな広い所もあ  
るかいのう」と。すると父親は「日  
本ちゆうのはのう、この十倍くら  
いもあるでよと言  
いました。息子は  
「てんなら父上。こ  
かあ、小日本でが  
んすなあ」と答えた  
そうです。この話



これは「エンコウ」というカッパ  
が出てくる話です。  
ある日、下男がお姫様の乗る馬  
を保木川の河原で洗っていたとこ  
ろ、突然エンコウが現れました。  
そして、体に馬の手綱を巻き付け  
馬をすごい力で水中に引き込もう  
としましたが、馬は最後の力を振  
り絞り、エンコウをひきずり屋敷  
へ戻りました。村人たちはエンコ  
ウを殺してしまおうと決めました。  
それを聞いたエンコウは、お姫  
様に「もうせん。この川じゃ絶対  
悪さあせんけん許してくれえ。お  
わびのしるしの証拠をあすの朝ま  
で必ずみせるけん」と約束し、繩  
を解いてもらいました。  
翌朝、村人たちが河原へ行くと、  
そこには立派な塚が建っていました。  
その後、保木川の水が絶える  
ことなく、田畑はうるおい、豊作  
が続いたということです。

## 「猿猴塚」



●「小日本昔ばなし」  
販売場所 菊川総合支所地域政策課  
販売価格 1000円(税込み)  
(☎287-1111)

12月号の編集記者(後列左から)  
村田宏仁さん、久間吾春さん、  
長尾綾子さん

▲木屋川沿いの「ほほえみの小径」(菊川町下岡  
枝)にある、カッパとお姫様のモニュメント。

▲大好評の「小日本」の紙芝居。菊川総合支所  
地域政策課で貸し出しを行っています。